

タットン会 通信

2007. 3. 24

- ◎ タットン会ホームページ [タットン会](#) と入力すると検索でき、会の趣旨や開催日時などが確認できます。皆様からの掲示板コメントもお待ちしております。
日時・場所についての確認のみは → ボランティアセンター 046 (825) 0017 へ
(1月の参加費は、4,200円、寄付金は、2,019円 計 6,219円でした。)

おかげさまでタットン会も5年目を終わろうとしています。多くの皆様に感謝です!!!

つい先日、私の目の前でタバコをポイ捨てされ思わず『アッ!』と言ってしまい、続けて『すぐそこに吸殻入れがありますよ〜』と、やさしく言ったはずなのに『何言っただこのバカやろう! てめえが捨てればいいじゃねえか!』と怒鳴りながらガッチリした体格の父親が私に向かってきました。そのこと自体も怖かったけれど、もっと恐ろしいのはその父親が抱えていた幼児の行く末でした!?

今から15年前、ある雑誌で『忍野八海に湧き出ている100年前の水が汚れている』と報道されました。同じ頃、横須賀の清掃を仕事としている卒業生に『先生、そのうち水が飲めなくなるよ』と、それらの情報に刺激され、家から学校までゴミ拾いをしたことがあります。何のゴミが多かったと思いますか??

街路樹の陰に大人がポイ捨てしたタバコがダントツでした。『なに! 大人が町を汚している!!』当時、生まれた我が子には、『地球の安泰を願える人に・・・』という気持ちを込めて泰地と名付けました。あれから14年、相も変わらず先ほどの大人。～あの頃よりも、何んだか質が悪くなってきたかなあ?

2月15日付のホームページ掲示板に書かせていただきましたが、『今後、学校の空き教室の使い方として、例えば～環境リサイクルを考えた市独自の 1. 障がいがある方々との作業所つくりの場 (クリーニング・陶芸・ガラス細工・ミックスペーパーを利用した和紙はがきつくり等) や 2. 一般市民や小中学生が集える場 (体育館開放・茶道華道・そばうどん体験コーナー・畑・詩吟・・・) のボランティアや体験コーナーなど、教室や体育館・校庭をそれぞれ有効に使える福祉・環境・教育の場の総合施設になったら良いなど。市と連携して、市民にも興味を持ってみんなで作って考えていける施設って出来ないものか?』と、『市長と語る町づくり』への質問時に言いたかったのですが、30秒ではチンプンカンになってしまいました。

15年前から環境問題に危機感を持っていましたが、今の私たちに出来ることって何でしょう? 少なくとも、今の子供たちが大人になっても困る事のないように環境を守っていかれたらな! と強く思っています。しかし、今のままでは・私も一杯一杯です。

2月17日54回目のタットン会は、前回と違い空いている卓球台が数台、桜台同好会チームが来てくれるかどうかによって、賑わいも違うものどつくづく感じました。しかし、初めの頃はボールを目で追うことさえも難しかったチャレンジャーさんが、盲人用の台で転がしながらもボールに集中しておられた姿はうれしいものでした。バドミントンは相変わらず参加者が多い中、タットン大会継続回数を意識してあちこちから数える声も聞かれました。



2/17 時にはラジオ体操!

感想・参加者カード・気がついたこと!!!

- ※1 初めての参加で私も子供も何をやるのかよくわからないまま来てしまいましたが、普段できないバドミントンをやらせてもらい最初は上手にできなかったのが、ボランティアさんの指導でラリーが出来るようになりました。ありがとうございました。(T様)
※2 今日は、初めて最後まで出来ました(いつもは、休憩が多いのですが)。立って27回、座って23回、とっても頑張ったので疲れちゃったね! 次回、タットン大会も続けて来てね! (I様)



ベテラン事務局石田さんの手ほどき

- ※3 ネットなし卓球で打ち合いをしました～10回から始めて最高60回まで続けられました。回数をあらかじめ決めて、目標を持って打つことが好きなようでした～。(I様)
- ※4 卓球を中心に行いました。①ボールをしっかりと見ること ②上手いかなくとも根気強く続けること ③使用しているボールを探すこと をテーマとしました。～自分から得点板を持ってきて、ゲームへと発展させることが出来ました。ペンよりシェイクの方が良いですね。(O様)

～ すべてを載せられずごめんなさい ～ (チャレンジャー参加者21名)

進路と余暇を考える

～パート16～

初めてタットン会に僕が参加したのは2004年の5月。つまり初めてタットン会に参加してから3年近く経ったこととなります。その間、僕自身はただバドミントンを楽しむことしかしていません。事務局としては、もう少し何か事務的な仕事もした方がいいのかなって思ったりもするのですが、その辺は他の事務局メンバーに任せてしまい、しっかり楽しんでいます(笑)

5回、10回、20回と続くようになるのも楽しいですし、僕がシャトルを投げて、それを綺麗に打ち返してもらう瞬間もとても楽しいです。

全てはタットン会の雰囲気がとても良いせいです。チャレンジャーさんもボラさんもみんな楽しんでいるように見えます。とても素晴らしい雰囲気です。

若いボラさんの中には、『楽しませる努力』を一生懸命して、『これでいいのかな?』って苦しんでいる人がいます。僕はその人にこそ、まず楽しんでほしいと思います。パートナーが楽しんでいれば、あなたも楽しくなるように、あなたが楽しんでいけば、パートナーも楽しくなるはずですから。 事務局 浅羽佑介

第55回タットン会 本日 3月24日の流れ 於 横須賀アリーナ

- 8:30 ～ 準備
- 9:00 受付開始
- 9:30 本日の説明 ペアになって、カード確認
自己紹介・握手をしよう!
体操(ディズニーorラジオ体操)、
タットン大会 各種目(持続回数と試合!)
- 10:30 休憩 バンド演奏(けん玉で遊ぼう!?)
- 10:50頃 全員で写真撮影
後半競技～『オムニキン』(3色のチームに分かれ、チームで手をつなぎ輪を作る。指定された色の輪に大きなボールが入るようにする。) - 県立大学学生より
- 11:30頃 パラシュート!
- 11:40頃 片づけ・モップ、感想カード記入(手話コーナー)・けがの確認 11:50頃 解散



どうしたの? このあとうさぎとびでバドミントンへ

《今年度の予定》

2007年55回目 3/24土 本日「タットン大会」
【6年目】未定です
2007年度 5月は、19or26 6/16or23 7/28
8/18or25 ……

本日の担当者

チーフ: 湯野・さくら、準備指示: 荏原優子・県大生
継続受付: 林美佐子 新規受付: 浅羽純子
新規説明: 鈴木孝芳
全てのサポート: 県立大学学生・事務局メンバー



— 素敵な笑顔さんからひと言 —

～先月も感じたのですが、今回も感じたことがあります。自分でもどうして分からないのですが、タットン会さんのチャレンジャーさんたちといると気持ちが安らぐのです。同情なんかではなくて、いとおしく感じます。心底からかわいいと思うんです。だから、本当にあの時間が楽しくて楽しくてたまらないのです。ボラという役割をいただいておりますが、私自身がボラされているようです。なぜ、こういう気持ちになるのか不思議です。～ (Y.A)